公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス	放課後等デイサービス たいよう						
○保護者評価実施期間	令	和6年11月5日	~	令和6年12月9日				
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9 名	(回答者数)	9 名				
○従業者評価実施期間	令	和6年11月5日	~	令和6年11月12日				
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4 名	(回答者数)	4 名				
○事業者向け自己評価表作成日	令和	06年12月16日						

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々に応じた活動ができていること	活動目的(めあて:季節を感じよう・・製作作り、 散歩、秋みつけ、等)は同じでも、子ども一人ひとりに 応じた内容ができるよう人員配置を確保している。	こどもの姿に応じた活動内容ができるよう、職員間で 今まで以上に話し合いながら計画を立てていく。
2	どの職員も保護者との信頼関係が十分とれていること	毎日の連絡ノートや送迎時にその日の子どもの様子を伝え合い情報を共有している。 食の面で気になる子供には食に関する活動を計画の段階で保護者に確認をとりながら計画を立てている。	ちゃ
3	広い室内、近くにある公園、程よいお散歩コース、等子 供が過ごすに環境が適していること	季節や活動に応じて室内環境を整えている。 地域の理解や協力あっての活動が行えており、子ども自 身が五感を通して様々なことを感じたり学んだりできて いる。	か

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個別に支援が必要なこどもが多いので、職員の人数が その分必要になっていること。	集団で活動をする事が難しい子どもが多い。	少しずつ集団に慣れることができるよう、過ごす時間 の中でみんなで話を聞く時間を設ける等をして、
2	事業所の建物内に就労B型施設もあり、成人の利用者さんと共通で使用する場所があること。(廊下、トイレ、食堂、送迎車 等)		期休暇中は朝からの利用なので廊下やトイレを一緒に使うことになる。お互いに気持ち良く使えるよう長期休暇中に入る前の全体会議では事前に伝えておかなくてないけない。
3	公園の友だちとトラブルになりやすいこと。	お菓子を持っている友達がいると気になり近くに寄ったり、時には触ったり奪ったりしてしまうことがある。 友達の自転車に勝手に乗ろうとする。 相手が帰ろうとしていても一緒に遊びたくて強引な行動をとってしまう。	に簡単に子どもの様子を伝えて理解を得ると共に、公 園で遊ぶ時の約束やマナーを伝えていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス たいよう

公表日 令和7年1月21日

利用児童数

9 名

回収数

9

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8			1		
環境・生	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	7			2	観々に合わせてスタッフがフォローして下さっています。 子供に対して人数が足りているかは分かりませんが、手厚く対応して頂いています。	今後も安全に過ごせるよう適切な人員配 置を行います。
体制整備	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、パリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	5			4		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	8			1		
	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	7	2			個別でその子に合った対応をして下さる ので助かります。	これからも、こどもの姿や思いを十分受 け止めて必要な支援を行っていきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	6			3		
適	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画や放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	7			2	子どもはもちろん、家族も一緒に大切に してもらっているようで嬉しいです。	子どもに必要な支援と家族の願いや意向 に沿った計画を、これからも職員全員で 考えて立てていきます。
切な支援の提	8	児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)には、児童発達支援(放 課後等デイサービス)ガイドラインの「児童発達支援(放課後等デイサー ビス)の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、そ の上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	7	1		1		
供	9	児童発達支援計画 (放課後等デイサービス計画) に沿った支援が行われていると思いますか。	7			2		
	10	事業所の活動ブログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	6	1		2		
	11	保育所や認定こども圏、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館等と の交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	1	4		4		
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9					
	13	「児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)」を示しながら、支援 内容の説明がなされましたか。	9					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ベアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	2	2	3		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況に ついて共通理解ができていると思いますか。	8			1		
保	16	定期的に、面談や子育でに関する助言等の支援が行われていますか。	7			2		
護者へ	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	8			1		
の説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流 の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい向士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	3	2	3	交流会があればぜひ参加したいです。	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されている とともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周 知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ通切に対応されています か。	7			2		

	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると 思いますか。	8		1	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	7	1	1	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9			
非	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュア ル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていま すか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5	1	3	
常時等	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4	1	4	
が対応	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、 安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8		1	
<i>M</i> J	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7		2	
	27	こどもは安心感をもって適所していますか。	9			
満足度	28	こどもは適所を楽しみにしていますか。	8	1		
	29	事業所の支援に満足していますか。	9			

公表 事業所における自己評価結果

事業所名 放課後等デイサービス たいよう 公表日 令和7年1月17日

_						令和/年1月1/日 細野かみデオッカト
_		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		十分な広さがあり、目的に合わせて環境を 整えている。	
環境・体制	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切である か。	4		子どもの特性に合わせた人数で配置してい る。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、パリアフリー化 や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		事業所全体がパリアフリーに対応している。 使いたい物や道具が使えるようイラストや 写真で表示している。	
制整備	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		毎日と室内の清掃をしている。 活動に応じたスペースを作るなどをしてい る。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		食堂を利用。今後、パーデーションを利用したスペースを確保予定である。	
	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4		毎回、職員同士で打ち合わせを行っている。	
業	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設け ており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1	自己評価アンケートの結果を職員間で共有し ている。	アンケートの結果を真摯に受け止め、業務改 善に努めていきたい。
来務改善	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に つなげているか。	4		毎日の打ち合わせにより出た意見をその後の 支援に繋げている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	3	事業所全体の会議で出た意見を放デイ職員に 伝えている。	必要に応じて児童発達支援センターのスーパーバイザーの利用を検討していきたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。	4		確保されている。 今年度は心肺蘇生法の講習を全員が受講済。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		毎回の過ごし方(プログラム)を職員で共有 している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画(放課 後等デイサービス計画)を作成しているか。	l .		日々の子どもの姿や送迎時の家族との 会話や連絡ノートとモニタリングを基に支援 計画を作成している。	
	13	児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	1 4		支援計画作成時に職員間で検討し進めてい る。	
適切な	14	児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		支援計画を職員間で共有し、計画を基に 日々の支援を行っている。	
支援の	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	l _	1	ツールは用いていないが、日々の打ち合わせ で確認している。	標準化されたツールは使用していないので 必要に応じて活用していきたい。
提供	16	児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)には、児童発達支援(放課後等デイサービス)ガイドラインの「児童発達支援(放課後等デイサービス)の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		ガイドラインに沿った項目を設け、項目ごと のねらいを設定し具体的な支援内容を計画し ている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		チームで話し合い立案している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		季節に応じて外の活動、又壁面や製作活動を 行っており、どの活動も子供の姿から累を出 している。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児 童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成し、支援が行われているか。	4		子どもの特性や日々の様子から個別対応が 必要な場合には個別でかかわっている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行ってい るか。	4		毎回、支援開始前には子供の様子や活動に ついて確認している。	
適切	- 21 I	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		支援終了後には職員全員揃って、その日の 振り返りをしている。	
な支援の	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善に つなげているか。	4		毎日の振り返りと共に記録をとり、反省や 改善を職員で共有している。	
提供	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		日頃の様子や家の様子を踏まえて計画の見直 しをしている。	
	24	【放ディのみ】放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本 活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	4		子どもに合わせた基本活動を取り入れて支援 を行っている。	
	25	【放デイのみ】 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		職員の誘導ではなく自分の意思を自分の言葉 で伝えやすいよう、又職員が言ってしまわな いようにしている。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議 に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		放デイ責任者や日々かかわっている保育士が 参加している。	
	27	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、 教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1	個々に応じて必要な医療機関を確認している。	いざという時に対応できるよう、日ごろから 再確認しておく必要がある。
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	2	定期的に開催される療育に関する情報交換会に参加しており連携を図っている。	必要に応じて助言を受ける機会を設けていき たい。
関係機	29	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童 館との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	1	近くの公園で一緒になった保育所、小学生、 中学生と一緒に遊ぶ事がある。	これからも地域の方とかかわっていきたい。
関や保	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や 課題について共通理解を持っているか。	4		普段の送迎時や連絡ノートを通して、やり とりを行っている。	
護者と	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	3	放デイと家族間での情報交換は十分できてい る。	家族の要望を確認しながら進めていきたい。
の連携	37	【放デイのみ】学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、 こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル 発生時の連絡)を適切に行っているか。	3	1	学校のHPで各行事や下校時間を確認している。	学校が相談事業所を通してほしい意向の為、 適切に行っているとは思わない。
	38	[放デイのみ] 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。			必要に応じて保育所在籍中に担任から放デイ 利用予定者について話を伺い、利用開始に向 けて体制を整えつつ相互理解に務めている。	
	39	【放デイのみ】学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉 サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を 提供する等しているか。	4		卒業予定の利用者に対して、相談事業所の担 当者に放デイでの様子を伝えた。	
	40	【放デイのみ】(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	2	2	自立支援協議会による、療育に関する情報交換会に参加している。	自立支援協議会自体が不十分と感じるので体 制を整える必要がある。
	41	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を 行っているか。	4		契約時に説明している。	
保護者への	42	児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		モニタリングの時期に家族との面談時間を 設けて家族の意向を聞いている。	
の説明等	43	「児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)」を示しながら 支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得て いるか。	l .		家族に支援計画について説明し、同意を得ている。	
त्त	44	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応 じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		日々、送迎時や連絡ノートを通して適切に対応している。	

	45	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。ま	1	3		今まで家族からの要望がなかったので開催し
	45	た、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしている か。	•			ていないが、今後要望があれば開催したい。
	46	こどもや保護者からの相談や苦情、申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や苦情、申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		迅速に職員間で情報共有し且つ検討し、その 時に状況に応じた対応をしている。	
保護者	47	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4		毎月さんさんだよりを発行し、放デイの様子 を発信している。	
への説	48	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		常に意識している。	
明等	49	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮 をしているか。	4		個々に応じて適切な配慮をしている。	
	50	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を 図っているか。		4		毎年地域清掃を行っているが、事業所職員と 成人の利用者のみの参加である。放デイの子 供も参加できるよう考えていきたい。
	51	[放デイのみ] 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に 応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		家族からの要望や必要に応じて場を設けてい る。	
	52	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	1	事業所全体での会議で確認している。	家族への周知は契約時のみなので、毎月の通信などで周知していきたい。
	53	業務継続計画 (BCP) を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		定期的に避難訓練を行っている。	
	54	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認し ているか。	4		利用開始前に家族より状況を確認して職員間 で共有している。	
非常	55	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応 がされているか。	1	3		現在対象者はいないが、今後適切な対応をし ていきたい。
時等の	56	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措 置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	1	3	各職員が安全面に関して常に意識しており、 場面に応じて臨機応変に対応している。	早急に作成していく予定である。
対応	57	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全 計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	1	家族との連携は、どの職員も日頃から十分と れており、安全面に関しても気になることが あるとその日の内に伝えている。	I.
	58	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について 検討をしているか。	3	1	事故につながりそうな場面があると職員間で 共有し、同じことが起こらないよう対策を 行っている。	ヒヤリハットを今後共有していきたい。
	59	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応を しているか。	3	1	これからも虐待防止の研修を行っていきたい。	
	60	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に 決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児 童発達支援計画に記載しているか。	2	2	契約時に説明している。	改めて職員間で共有しなければいけない。